



2025年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月26日

上場会社名 フィードフォースグループ株式会社
コード番号 7068 URL <https://feedforcegroup.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田 耕司
問合せ先責任者 (役職名) コーポレートチームマネージャー (氏名) 嶋原 孝瑛 TEL 03 (6732) 5488
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第1四半期の連結業績（2024年6月1日～2024年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第1四半期	1,052	△1.2	398	2.3	351	4.7	340	5.4	196	△34.4
2024年5月期第1四半期	1,066	17.9	389	66.5	335	108.8	322	103.3	300	—

(注) 包括利益 2025年5月期第1四半期 197百万円 (△34.4%) 2024年5月期第1四半期 300百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第1四半期	7.73	7.62
2024年5月期第1四半期	11.50	11.28

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額 (販売費及び一般管理費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第1四半期	6,785	2,798	39.7
2024年5月期	7,559	2,889	36.9

(参考) 自己資本 2025年5月期第1四半期 2,693百万円 2024年5月期 2,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—	—	—	—	—
2025年5月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,144	△0.0	859	14.0	754	16.4	744	19.5	490	179.0	19.14
通期	4,580	8.3	2,014	39.3	1,800	45.5	1,781	52.7	1,172	147.6	45.90

（注）1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額（販売費及び一般管理費）

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期1Q	25,338,258株	2024年5月期	25,768,658株
② 期末自己株式数	2025年5月期1Q	－株	2024年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年5月期1Q	25,482,441株	2024年5月期1Q	26,084,638株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料につきましては、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの主要な事業領域である国内インターネット広告市場の2023年の市場規模は、社会のデジタル化を背景に堅調に伸長し、前年比7.8%増の3.3兆円と過去最高を更新しました。総広告費における構成比は45.5%を占め、広告市場全体の成長をけん引しております（出典：株式会社電通「2023年日本の広告費」）。また消費者向け電子商取引（BtoC-EC）市場は、経済産業省による2023年の調査「令和5年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」によると、国内のBtoC-EC市場の市場規模は前年比で2.1兆円、9.2%増の24.8兆円と引き続き拡大しています。物販系分野のBtoC-EC市場規模については、2023年において、伸長率は鈍化したものの前年比4.8%増の14.6兆円となり拡大傾向が継続しております。また、EC化率（全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合）が前年比0.3ポイント増の9.4%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

当社グループは「『働く』を豊かにする。～B2B領域でイノベーションを起こし続ける～」をミッションに掲げ、「プロフェッショナルサービス事業」、「SaaS事業」、「DX事業」の3セグメントにおいて事業を展開しております。セグメント間のシナジー効果を発揮する組織体制は当社グループの最大の強みであり、それに加えて、収益性・安定性・成長性において異なる特性を有しているため、利益を拡大しつつ成長投資を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、プロフェッショナルサービス事業及びSaaS事業において、採用の強化や機能開発に取り組み、継続して成長を維持するための組織基盤の構築を行ってまいりました。また第三の柱となるDX事業においては、連結子会社である株式会社フラクタのShopify関連事業を同じく連結子会社である株式会社リワイアへ事業譲渡する事業再構築を行いました。DX事業における中核を担う株式会社リワイアに経営リソースを集約し、ポストCookieや生成AIなど今後のデジタルマーケティング環境で必須となるサービスの新規事業の開発を推進し、Shopifyアプリ・IDソリューションなどの新サービスのリリースを行ってまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、下表の通りとなりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

	2024年5月期 第1四半期 (累計)	2025年5月期 第1四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	1,066	1,052	△13	△1.2
EBITDA	389	398	9	2.3
営業利益	335	351	15	4.7
経常利益	322	340	17	5.4
親会社株主に帰属する四半期純損益	300	196	△103	△34.4

※EBITDA＝営業利益+減価償却費+のれん償却額

セグメント別の経営成績は、次の通りであります。

<セグメント区分について>

セグメント名	所属サービス、所属カンパニー	詳細
プロフェッショナルサービス事業	「Anagrams」アナグラム(株) 「DF PLUS」(株)フィードフォース	デジタルマーケティングサービス (広告マーケティング支援、インターネット広告運用代行、データフィード構築運用)
SaaS事業	「ソーシャルPLUS」(株)ソーシャルPLUS 「CRM PLUS on LINE」(株)ソーシャルPLUS 「dfplus.io」(株)フィードフォース 「EC Booster」(株)フィードフォース	サブスクリプション型ツール提供サービス (ソーシャルログイン・メッセージ配信ツール、データフィード管理ツール、Googleへの商品掲載・広告運用自動化ツール、)
DX事業	「Omni Hub」(株)フィードフォース 「どこポイ」(株)リワイア 「App Unity Xross ID&IDP」(株)リワイア 「Shippinno」シッピーノ(株) 「FRACTA」(株)フラクタ	EC事業支援サービス (Shopifyアプリ開発、EC構築支援サービス、ECの出荷・受注業務自動化ツール、ブランド戦略設計)

<セグメント別業績>

(単位：百万円)

		2024年5月期 第1四半期 (累計)	2025年5月期 第1四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
プロフェッショナル サービス事業	売上高	590	614	23	4.0
	営業損益	264	238	△25	△9.6
SaaS事業	売上高	254	304	49	19.3
	営業損益	115	128	13	11.5
DX事業	売上高	220	134	△86	△39.1
	営業損益	△43	△15	28	-
合計	売上高	1,066	1,052	△13	△1.2
	営業損益	335	351	15	4.7

<プロフェッショナルサービス事業>

プロフェッショナルサービス事業では、エンタープライズを中心とした企業に対し、運用型広告代行及びデータフィードマーケティングなどのデジタルマーケティング支援を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、成長を維持しつつ、広告運用コンサルタントの採用による運用体制強化を行った結果、前第1四半期連結累計期間と比較し、増収減益となりました。

<SaaS事業>

SaaS事業では、エンタープライズからSMBまで幅広い企業に対し、セルフサービスで高度なマーケティングが実施できるツールとして、データフィード管理やソーシャルログインシステムなどをSaaSにより提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、主に「dfplus.io」とソーシャルPLUSにおける新規顧客の獲得及び既存顧客からの受注額増加に加え、LINEメッセージ配信サービスやShopifyアプリ「CRMPLUS on LINE」の需要が高く、順調に推移した結果、前第1四半期連結累計期間と比較し、増収増益となりました。

<DX事業>

DX事業では、主にEC事業者を対象としてShopifyによるサイト構築やShopifyアプリなどの開発・提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、Shopifyアプリによる収益の増加が順調に推移した一方、株式会社フラクタの事業再構築を行った結果、前第1四半期連結累計期間と比較し、減収損失減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、6,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ773百万円減少いたしました。

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産合計は、5,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ743百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が549百万円及び前渡金が168百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産合計は、1,330百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が16百万円及び顧客関連資産が27百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債合計は、2,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ697百万円減少いたしました。これは主に買掛金が431百万円及び未払法人税等が189百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債合計は、1,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは繰延税金負債が15百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少いたしました。これは主に資本剰余金が298百万円減少した一方、利益剰余金が197百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年6月27日付「2024年5月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,522	2,973
売掛金	1,575	1,585
前渡金	892	724
その他	221	187
貸倒引当金	△14	△17
流動資産合計	6,198	5,454
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	42	41
その他（純額）	29	36
有形固定資産合計	72	78
無形固定資産		
のれん	263	251
顧客関連資産	610	583
その他	0	0
無形固定資産合計	874	835
投資その他の資産		
投資有価証券	105	105
繰延税金資産	143	127
その他	166	185
投資その他の資産合計	414	417
固定資産合計	1,361	1,330
資産合計	7,559	6,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,684	1,252
短期借入金	66	33
1年内返済予定の長期借入金	1,170	1,085
未払法人税等	301	112
賞与引当金	73	37
その他	199	278
流動負債合計	3,496	2,799
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
繰延税金負債	172	187
固定負債合計	1,172	1,187
負債合計	4,669	3,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	37	39
資本剰余金	1,052	754
利益剰余金	1,705	1,902
株主資本合計	2,795	2,696
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△3	△3
新株予約権	96	104
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,889	2,798
負債純資産合計	7,559	6,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
売上高	1,066	1,052
売上原価	362	324
売上総利益	703	728
販売費及び一般管理費	367	376
営業利益	335	351
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	—	0
その他	2	0
営業外収益合計	2	1
営業外費用		
支払利息	3	4
持分法による投資損失	10	6
その他	1	1
営業外費用合計	15	12
経常利益	322	340
特別利益		
投資有価証券売却益	86	—
新株予約権戻入益	3	0
資産除去債務戻入益	44	—
特別利益合計	133	0
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
その他	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	456	340
法人税、住民税及び事業税	127	112
法人税等調整額	28	31
法人税等合計	156	143
四半期純利益	299	196
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	300	196

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年6月1日 至 2023年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年6月1日 至 2024年8月31日）
四半期純利益	299	196
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	300	197
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	300	197
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、会社法第165条の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、自己株式436,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が299百万円増加しました。

(自己株式の消却)

当社は、2024年6月27日開催の取締役会において、会社法第178条に基づく自己株式の消却をすることを決議し、自己株式436,000株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が299百万円、自己株式が299百万円それぞれ減少しました。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	33百万円	35百万円
のれんの償却額	20	11

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年6月1日 至 2023年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッショナルサービス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	590	254	220	1,066	-	1,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	11	0	11	△11	-
計	590	266	220	1,077	△11	1,066
セグメント利益又は損失 (△)	264	115	△43	335	-	335

（注）1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年6月1日 至 2024年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プロフェッショナルサービス事業	SaaS事業	DX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	614	304	134	1,052	-	1,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	4	-	6	△6	-
計	616	308	134	1,059	△6	1,052
セグメント利益又は損失 (△)	238	128	△15	351	-	351

（注）1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。